



### なぎさのまなび・・・

新型コロナウイルス感染症のため、休校になってオンライン授業にしたものの、なぎさらしい学習（本物体験等）ができないのが心残りなことでした。学校再開で早速動き出したのは、不思議緑の学びです。

#### ◆生活科編～不思議緑

##### 1年 ビオトープ探検

生活科の理科分野を「本物に触れ、五感をひらいて学ぶ」授業を展開できる教科名として子どもたちの「ふしぎ～」という声を生かして命名しました。深い知恵や高度な工夫につながるような高学力は、五感で実感し、体験してこそ生まれるものです。学習の場として「自然」の中に豊富にある生き物を対象にして子どもたちの中にたくさんの不思議の種をまき、科学する見方・考え方を育てたい！そんな願いから生まれた学習が子どもたちの心をつかんで離さないのです。



よ。こんな生き物がいたよ。ふしぎ・・・

メダカ、ヤゴ、アカハライモリ、コオイム

シ、アメンボウ、ツチガエル、（トノサマガエル）、シュレーゲルアオガエル、エビの仲間などたくさんの生き物と出会うことができました。

これまでも大好きだったビオトープですが、これからは、科学者の目で観察することでしょう。

### トマト（りりこ）

2年生がトマトを植えて観察しています。畑とプランターの両方で育てるのですが、理科の先生に聞くと、畑で育てる方がいいのだけれど、観察するのは、プランターが便利とのこと。今年もトマトパーティーができそうです。うれしいですね。

### 7月の生活目標

- すみずみまでそうじをしよう
- 平和についてかんがえよう

#### ◆生活科編～不思議青

##### 1年・2年 学校探検

生活科の社会科分野を「村の不思議・街の不思議」として独自に設定しています。子どもたちの「ふしぎ」を大切に社会科という教科につなげていきます。学習は、自分・家族・友だちという身近なテーマから地域・国・世界へと発達段階に応じて拡がります。自分と関わりのある「人」から「社会のしくみ」へ学習を深めていきます。

1年生と2年生がペアになって、学校を探検します。今年は、探検風景が変わりました。2年生は、タブレットを使いながら1年生を案内します。タブレットには校舎の図が示してあり、わかりやすく説明できます。学校が休校の間にぐんと上手になったタブレットの使い方ですが、1年生もしっかりよく聞いて見て学んでいましたね。日ごろあまり行くことのない山棟を丁寧に案内しながら、優しく親切に説明する2年生と上手に聞いて学ぶ1年生、いずれも頼もしく感じました。

ここは、4年生の教室です。  
クラスの名前は・・・

